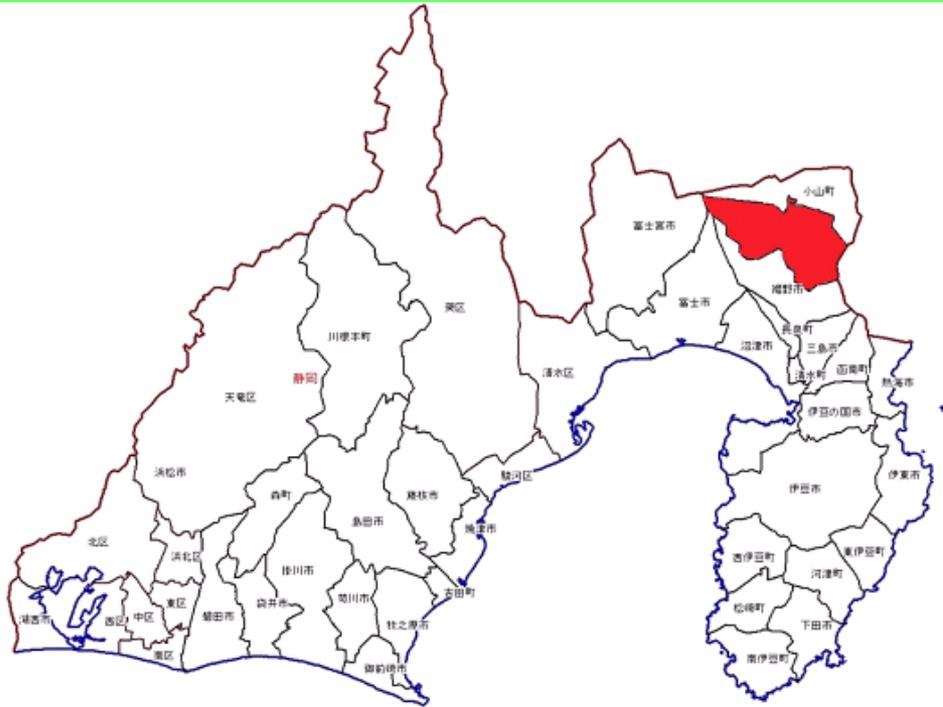


＜バイオマス産業社会ネットワーク第167回研究会＞

御殿場市駒門周辺地域エコシティ化推進区域について



御殿場市の紹介



人口：89,109人 (H29.5.31時点)

面積：194.90km²

主要施設

富士山樹空の森・御殿場高原時之栖
御殿場プレミアム・アウトレット・秩父宮記念公園
ごてんば市温泉会館

主要交通機関

東名高速道路・新東名高速道路・JR御殿場線
国道138号・246号・469号

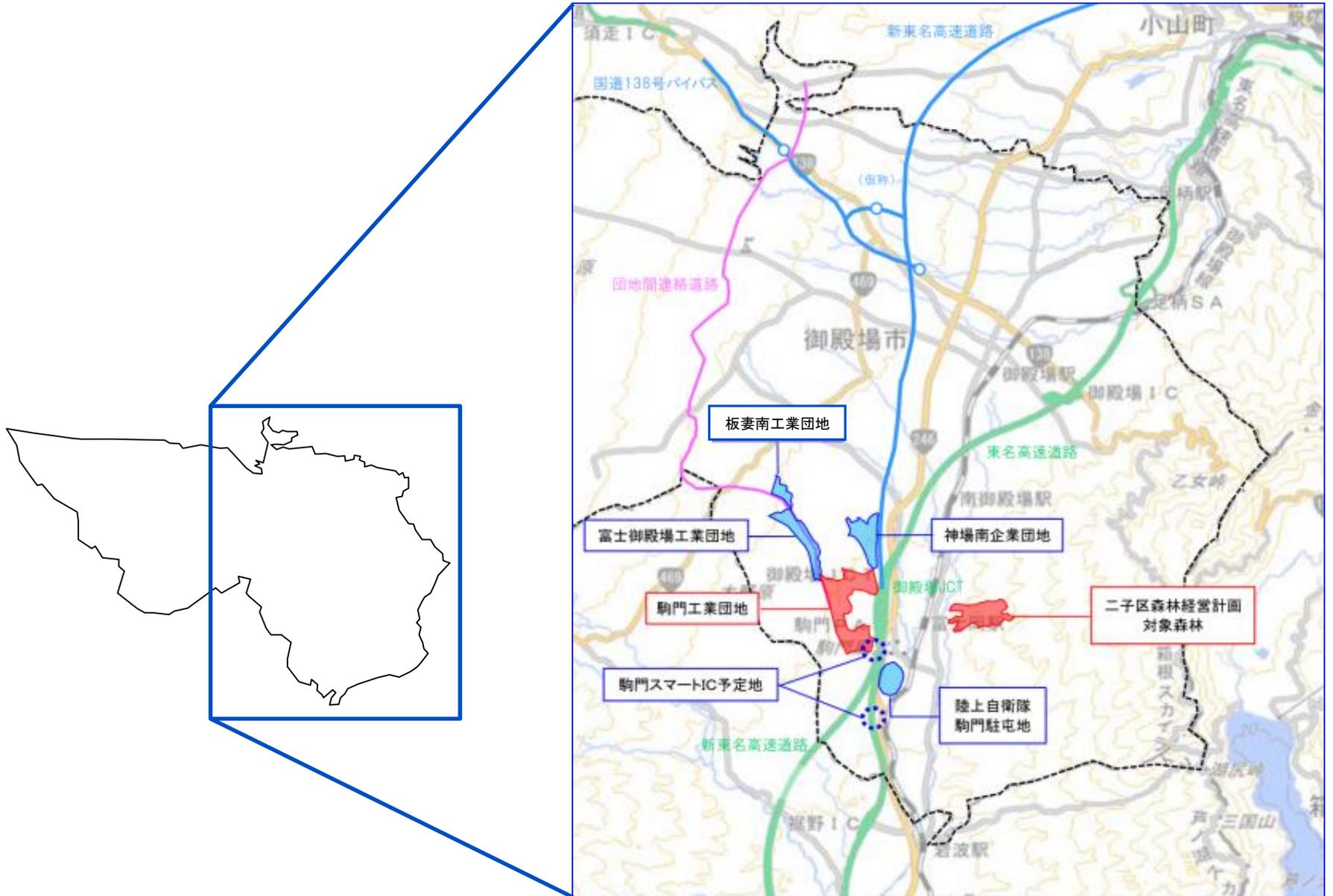


← 富士山樹空の森

→ 秩父宮記念公園



■ 駒門周辺地域エコシティ化推進区域



- **御殿場市として取り組むべき環境課題・エネルギー課題
・産業振興課題**
(資源循環型のまちづくり、低炭素化社会の実現、新産業・既存産業の育成支援等)
- **環境事業開発拠点としてのリコーの再出発**
- **富士岡地区森林整備推進モデル事業の展開**
(森林の観光資源化、地域のまちづくり、森林の里山利用、雇用創出、地域内経済循環)

これらの社会的要因等を契機として
駒門周辺地域のエネルギー関係事業者、団体等を加え
官民連携による取組みの可能性を検討することになった

第四次御殿場市総合計画（平成27年策定）

5-1 地球温暖化防止活動の推進

(1) 新・省エネルギーの導入推進

市域での再生可能エネルギーを利用した太陽光発電システムなどの機器の導入を推進するとともに、化石エネルギーに代わる再生可能エネルギーの普及・促進に努めます。

また、工業が集積する駒門周辺地域をモデル地区として、太陽光発電・小水力発電設備や間伐未利用材などの木質バイオマスを用いた熱源利用設備等の導入によるエネルギーの地産地消を促進し、市域全域への拡大に努めます。

2015年

5月27日 駒門周辺地域エコシティ化検討会スタート

9月 2日 構想案のとりまとめ

9月16日 構想案の庁内精査（調整会議）

10月 5日 エコシティ化構想の庁内合意形成（庁議）

11月 5日 県の内陸フロンティア推進区域に指定

- 1 **バイオマスの活用**
- 2 **バイオマス由来ガス・天然ガス混合燃焼発電事業**
- 3 **小水力発電事業**
- 4 **農業の自動化・工場化、地域農業との共同**
- 5 **水素ステーションの導入の促進**
- 6 **廃プラスチックの油化事業**
- 7 **天然ガスの有効利用**
- 8 **災害時の物資供給ステーションエリアの提供**
- 9 **静岡県内陸フロンティア推進区域の指定**
- 10 **エコシティ化の普及に向けた取り組み**



駒門周辺地域エコシティ化推進協議会発足

駒門周辺地域エコシティ化推進協議会

第1分科会

「再生可能エネルギーの利用促進」

～小水力発電、木質バイオマスの活用～

(株)リコー、御殿場総合サービス(株)、矢崎エナジーシステム(株)
二子区、駒門区、御殿場市森林組合、御殿場市

第2分科会

「新たな農業の創出」

～農業の自動化、工業化～

(株)リコー、御殿場総合サービス(株)、御殿場農業協同組合
御殿場市

第3分科会

「低炭素エネルギーの利用促進」

～天然ガスの活用、木質バイオマスと天然ガスの混合燃焼、
水素ステーション～

(株)リコー、静岡ガス(株)、御殿場ガス(株)、御殿場市

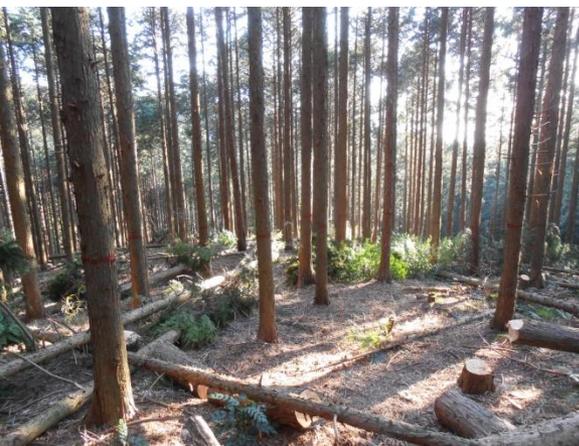
第1分科会

「再生可能エネルギーの利用促進」

～小水力発電、水素ステーション、木質バイオマスの活用～

・バイオマス利活用

富士岡地区森林整備推進モデル事業用地（市内二子地先）から切り出される間伐材を搬出、建築材としての利用のほか、未利用材についてはチップ化して(株)リコー環境事業開発センターの冷暖房用・給湯用ボイラーに使用し、バイオマス熱利用の有効利用を開始した。ここで得られた知見・データについては、今後の市全体の温暖化対策・低炭素地域づくり推進のため、公共施設等でのバイオマス熱利用等の構想策定に活かしていく。



御殿場市エコガーデンシティ化プロジェクト

- 1 箱根山系の保全と活用（富士山ビューの確保）
- 2 世界一の桜並木整備
- 3 家・庭・コモンスペースの創造によるコンパクト・ガーデンシティ化
- 4 御殿場油田プロジェクト（ペットボトルキャップの油化）
- 5 **バイオマス利活用の実証研究（間伐材チップの熱利用等）**
- 6 スマートファシリティ普及促進（オフィス等での自動制御による省エネ）
- 7 マイクロ水力発電普及促進（中小河川等での小規模水力発電）
- 8 御殿場型エコファーム（省資源型の植物工場、環境配慮型の地場産食材）
- 9 ドローン利活用による環境保全・防災の推進